

2010年2月24日
エヌ・ティ・ティ ラーニングシステムズ株式会社

エヌ・ティ・ティ ラーニングシステムズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：古賀 哲夫）は、3月9日（火）～12日（金）まで、東京ビッグサイトで開催される第18回セキュリティ・安全管理総合展「[SECURITY SHOW 2010](#)」において、危機発生時の情報共有システムとして欧米で豊富な実績を誇る「WebEOC®」を出展いたします。

併せて、本展示会内のワークショップにおいて、「米国におけるWebを利用した危機管理対応の現状」をテーマとした講演を開催いたします。

「WebEOC®」の概要

WebEOC®は、緊急事態や災害の発生・復旧状況を的確に認識することで意思決定を支援するシステムです。他システムとの情報連携やお客様によるカスタマイズなど、拡張性に富んでいます。扱える情報は文字・地図・画像のほか、RSS、Twitterにも対応しています。

出展の概要

イベント名	第18回セキュリティ・安全管理総合展「SECURITY SHOW 2010」 http://www.shopbiz.jp/ss/
日時	3月9日（火）～12日（金） 4日間 10:00～17:00（最終日のみ16:30終了）
場所	東京ビッグサイト 西2ホール 小間番号:SS2118  ※画像をクリックすると拡大表示されます。(PDF/320KB)
展示内容	「WebEOC®」をデモンストレーションを交えてご紹介いたします
入場料金	Webサイトの事前登録 で無料（登録受付は3月8日まで） 一般 = 1,500円、団体（20名以上） = 1,000円

講演の概要（ワークショップ）

講演テーマ	米国におけるWebを利用した危機管理対応の現状
日時	3月11日（木） C-3 14:20～14:50 3月12日（金） A-4 12:40～13:10

場所	展示会会場内セキュリティワークショップ会場
受講方法	無料・事前登録は不要

【本件に関するお問い合わせ先】

エヌ・ティ・ティ ラーニングシステムズ株式会社
インターネット事業部
電話：03-5440-4215